

題 「自由吟」 小島 蘭幸 選

特選

積み上げた八十年にある矜恃

福山市 村田 幸夫

【評】被爆八十年、戦後八十年、積み上げた平和は私たち日本人の誇りです。

八月の予定は平和へのロード

広島市 羽城 裕子

【評】八月六日、九日、十五日、平和への道はどこまでも続いてゆくのです。

おはようの笑顔はいつも洗い立て

三原市 笹重 耕三

【評】幸せな家族の朝の情景が見えるようです。「おはよう」「笑顔」が爽やかです。そして下五の「洗い立て」が良い。

これからも戦後百年二百年

広島市 福田 淳子

【評】この平和がずっと続いて欲しいという熱い思いがひしひしと伝わって来ます。「百年二百年」のリフレイン最高です。

温暖化もしかして核より怖い

呉市 熊川 勝彦

【評】猛暑、大雨、竜巻き・・・。この句は、温暖化を最初に持つて来たことで、温暖化の怖さがより強く伝わってきます。

空想で君の名字になつてみた

玉手箱抱いた私が立つてゐる

ダイエット阻む夫の半分こ

卵焼夫の味が好きでした

ウガイしてマスクを掛けて初曾孫

老いる身のこころはせめて美しく

平凡がいい人生の着地点

セブ島でパラセーリング青春だ

ハードルが一年おきにある卒寿

帳尻を合わせて旅に出るつもり

福山市 栗原 裕子

福山市 田辺 豊子

広島市 近末 夕子

三原市 蔽 帆子

竹原市 室 晃二

尾道市 村上 和子

広島市 河浦 邦子

県立福山誠之館高等学校一年 新田 晓

広島市 大林 輝孝

福山市 早川 迷子

パリコレのドレス着こなすウインンドー

夢ばかり見ていた頃の作業帽

ばあちゃんと抱きついてきた子は二十才

Vサイン百まで生きた顔がよい

風穴を開けた女の初一念

ひと言が明日の扉を開けました

柳誌来るもう載らぬ名をまだ探す

大病は心を洗い無にさせる

シェーカーを振るマスターに一目惚れ

皆人の流す灯籠平和祈ぐ

尾道市　岡田　容彦
東広島市　大木　雅彦

広島市　岡崎　郁枝

広島市　吉村　立子

広島市　中野　妙子

福山市　門田ひとみ

広島市　持永　光子

三原市　吉永　団風

広島市　村上　中